

は、耐久限度を 99% survival level のものとする、抗張力が  $253 \text{ kg/mm}^2$  のとき、 $0.41$  から  $0.45$  の範囲であった。この値は通常の焼入れ焼モドシによつて得られると予測される値よりかなり高いものであるということが注目される。

3. オースフォーミング温度および変形量は、研究した範囲内では疲労抵抗に対して比較的小さな影響であった。

4. 同じ応力水準で、通常に熱処理した鋼と比較した

場合、オースフォームした鋼では破壊が生じる部分の疲労寿命は 10 倍に増加するように思われる。

5. 試験片の中央の円周部に応力集中係数  $k_t=2$  の切欠をもつ疲労試験片について行なつた切欠疲労強度は、通常に熱処理した鋼より 26% 改善された。また切欠感度性はオースフォーミングにより増大も減少もしないということを示した。

その他、介在物、残留応力、残留オーステナイトの影響について若干検討を加えた。 (安中 嵩)

## 正 誤 表

「鉄と鋼」第 50 年 (1964) 第 2 号掲載パネル討論会報告中下記を訂正いたします。

<p>(p. 244 右段 松永昭 (板岡講師に対す質問) 下より 24 行目) ……<u>Fig. 1 (板岡)</u> の比較図では……</p>	<p>……<u>Fig. 11 (板岡)</u> の比較図では……</p>
<p>(p. 247 右段 白井講師(回答) 下より 29 行目) C 0.20% の鋼種で約 80% であるのに対し鋼種では約 <u>65%</u> の歩留であることから推定される。</p>	<p>……鋼種では約 <u>95%</u> の……</p>

## 日本工学会第 9 回見学会のお知らせ

日本工学会では下記により第 9 回見学会を開催いたしますので、ご希望の方は奮つてご参加下さいますようご案内申し上げます。

### 記

1. 日 時 昭和 39 年 6 月 16 日 (火) 14:00~16:00
2. 見学先 科学技術庁航空宇宙研究所 (三鷹市新川 700)
3. 定 員 100 名先着順に日本工学会より参加証をお届けします。
4. 集合場所 14:00 までに見学先正門に集合のこと。  
(国電中央線吉祥寺駅下車、三鷹または調布行バスにて下連雀町 (航研正門前) 下車)
5. 申込先 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

日 本 工 学 会 (電 251-4358)

上記申込先宛、住所、氏名、所属学会名記入の上、5 月 31 日 (日) までに必着するようお申込み下さい。